

競技注意事項

- 本大会は、2026年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項により実施する。
- 招集について（招集所は第2ゲート、1500mスタート地点スタンド下）
 - 競技者は招集完了時刻までに招集所に集合し、チェックを受ける。その後、競技役員の誘導に従い競技場に入場する。ただし、砲丸投は本競技場で練習を行うため、現地招集とする。
 - 招集時刻は次の招集時刻一覧表のとおりとする。

競技種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
投てき競技	競技開始40分前	競技開始30分前
跳躍競技	競技開始50分前	競技開始40分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

※競技者は、競技順序記載の該当する組の競技時刻に合わせて、招集を受けること。

- 招集完了時刻に遅れたものは欠場とみなし、出場を認めない。
 - リレーのオーダー用紙は当該種目、第1組目の招集完了時刻1時間前（競技開始時刻80分前）までに、競技者係に提出すること。オーダー用紙は招集所に準備する。
 - 四種競技の招集は、第1日目および第2日目の最初の種目については、招集時刻一覧表の時刻に招集所で行う。第2種目は、競技開始20分前までにそれぞれの競技場所に集合すること。
 - 同時に2種目以上出場する選手は、「2種目同時出場届」を招集所で受け取り、先に行われる種目の招集時刻に招集所へ提出すること。（各ラウンドで提出すること。）
- 番組編成について（レーン順・試技順）
トラック競技のレーン順とフィールド競技の試技順は、主催者が抽選で決定し、プログラム記載の各競技者の登録番号の左に数字で示す。

- トラック競技について
 - スターターの合図は英語とし、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格させられる。ただし、混成競技においては、2回目以降に不正スタートした競技者が失格させられる。
 - 800mにおいては、1レーンからレーンナンバーの若い順にレーンに入る。1組9名を超える選手が出場する場合は、8、9レーンを各2名が走る。また、欠場者がいる場合は、1つのレーンを2名で走ることを無くすために、レーンを内側に詰める場合がある。レーンについては出発係の指示に従うこと。腰ナンバーカードはプログラム記載の番号とする。
1年生女子800mはオープンスタートで行う。

- アスリートビブスについて
 - アスリートビブスの番号は、2026年度の日本陸連登録番号とし、各自で作成し胸背部に確実に付ける。トラック競技の腰ナンバーカードは主催者が準備する。
 - 跳躍競技の出場者は胸背部のいずれか一方のみでよい。

- 競技場は全天候舗装である。また、競技用靴についてはシューズに関する競技規則を適用する。
砲丸投、円盤投においては、シューズに関する競技規則の適用対象から除外する。

- 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下表の通りとする。

種目・区分		種別	練習	試技
走高跳	男子	共通	1m35	1m40から5cmずつ、180cmからは3cmずつ
		四種競技	1m30	1m33から3cmずつ
	女子	共通	1m15	1m20から5cmずつ、1m45からは3cmずつ
		四種競技	1m10	1m13から3cmずつ
棒高跳	男子	共通	2m00	2m10から10cmずつ
	女子	共通	1m60	1m80から10cmずつ

- 競技運営上下記の種目は、計測記録を設ける。

走幅跳	男子	4m50	砲丸投	男子	5m00	ジャベリック クロスロー	男子	25m00
	女子	3m80		女子	5m00		女子	20m00
上記の計測記録に満たない場合は計測しない。ただし、必ず最初の成功試技は計測を行う。								

9. フィールド競技は招集完了後、競技場内で練習する時間を設ける。
走幅跳、砲丸投は、1日目に予選、2日目に決勝を行い、予選通過記録は、全日本中学校陸上競技選手権大会の参加標準記録とする。
【男子走幅跳：6m60、女子走幅跳：5m40、男子砲丸投：13m40、女子砲丸投：12m50】
また、予選通過記録を超えた選手が12名に満たなかった場合は、上位12名まで決勝に進出させる。なお、12番目に同じ記録の競技者がいた場合は、2番目の記録で順位をつける。決められない場合は3番目の記録で決める。それでも決められない場合は、該当する競技者全てが決勝に進出できる。
10. 走幅跳、三段跳については、本競技場内でのフリー練習は実施せず、公式練習2回のみとする。練習が必要な選手は、AKAKIRI FIELD に設置された専用エリアで事前に練習を行うこと。
11. 三段跳の踏切板は、9m板で1ピットとする。
12. 練習会場は、AKAKIRI FIELD、雨天練習場とする。ただし、砲丸投は競技開始60分前から本競技場投てきピットで行うこと。（投てき場での練習を禁止する。）参加する競技者は、第1ゲートから入場し、投てき審判員の指示で、フィールドに入ること。
円盤投の練習については、競技開始60分前からのみ、競技役員の指示の下、投てき場で行うこと。
13. 使用器具は、競技場備え付けのものを使用すること。
14. 投てき種目の投てき物の重量は、次の通りとする。
男子の砲丸は5.0kgとするが、四種競技の場合は4.0kgとする。女子の砲丸は2.72kgとし、男子の円盤は1.5kg、女子の円盤は1.0kgとする。
15. 各種目の8位までに賞状を授与する。ただし、共通リレーと奨励種目は3位までとする。奨励種目は次の通りである。
男子 1年1500m、三段跳、ジャベリックスロー、低学年リレー
女子 1年800m、ジャベリックスロー、低学年リレー
16. 本大会で標準記録を突破した者は、全日本中学校陸上競技選手権大会に出場できる。
17. 更衣室は、待機場所として使用しないこと。使用時は更衣を速やかに行い退出すること。メイン競技場メインスタンド1F、ボックススタンド下屋内走路付近（招集所横）の更衣室を使用すること。
18. 競技結果等については、宮崎陸上協会 Mobile サイト (<https://www.miyariku.org/maaf/mobile/>) に掲載する。また、競技場2Fコンコース（正面玄関上）にも掲示する。